



Australian Government

すべての人にとって公平な多文化 国家オーストラリアの推進

報告書要旨

多文化フレームワークに関するレビューとは、様々な文化、信仰や人生経験を持つ人々で成り立つオーストラリアの国家の最大限の可能性を引き出すための、政府全体と地域社会によるアプローチを必要とする世代間の改革課題です。

この報告書をオーストラリア政府に提出するにあたり、オーストラリア全国で行われた216回のパブリック・コンサルテーションを基にレビューが行われました。委員会はまた、一般から寄せられた796件の意見を考慮し（そのうち15パーセントは英語以外の言語による）、子供と若者のためのアートコンペティションを催し、すべての世代の声が反映されるようにしました。

それぞれのコミュニティから、委員会とのコミュニケーションにおいて、意思決定過程に参加したいという希望や、関係するレベルの政府機関と設計及び製作、責任とアカウントビリティを共有したいという、強い、団結した声があげられました。

これらの課題は、コミュニティ、セクター、機関、組織、または一つの世代グループのみでは解決できません。オーストラリアではすべての人々に包括性のある社会を築く責任があります。すなわち職場や社会において、オンラインでも対面でのやりとりでも、包括性、公正、敬意、平等などの人権に基づくアプローチが必要です。

政府全体にわたって常に当事者意識と責任を分かち合うことができるように、報告書は、オーストラリア政府に29項の推奨事項の実施を優先するよう求めています。

これらの推薦に基づき、私たちは多文化フレームワークのロードマップを提案します。このロードマップは、適切な制度の策定とともに、すべての人々のための公正で調和のとれた多文化主義オーストラリアを保つために必要な連続したつながりを目的としています。適切なデータ、調査と報告に基づいたロードマップの概要は以下の通り。

繋がりを通じた基盤の構築

- 社会的結束、文化的アイデンティティ、機会の平等に基づく多文化主義に対する超党派の国家的なコミットメント

- 強力なリーダーシップとアカウンタビリティを持ち、フレームワーク実施を主導する多文化オーストラリア委員会の推奨
- 当課題を専門とする多文化問題・移民・市民権省を通じた戦略的計画とコーディネーション
- 国とコミュニティ全体、多文化閣僚フォーラムや多文化コミュニティ諮問委員会による協力体制

アイデンティティと帰属感を通じた「歓迎するオーストラリア」の創造

- ハーモニーウィークなど多文化主義を称える行事や、国連による国際人種差別撤廃デーを公式に祝うための国家計画
- 社会的経済効果のため持続可能な言語政策の実施
- 近代的で多文化な国を反映した、市民権取得手続きの改革
- 独立した多様なマスメディアセクター
- 芸術やスポーツを通じて社会的変革を推進するコミュニティ機関や文化プログラムへの投資
- 市民権取得のプロセスで提示される歴史や、市民参加プログラム、永住権への道のりや教育などにおいて、オーストラリア全土で先住民の歴史への理解を深めるイニシアチブを開発する

協力的な包括性を通じたサービスの改善

- 医療、障害、教育、高齢者ケア、住宅などのサービスにおいて文化に配慮した対応を組み込む
- オーストラリア公共サービス委員会（APSC）による責任あるリーダーシップの統率のもと、オーストラリア公共サービス全般における文化的能力の向上
- 持続可能性と確実性を中心とした現代的な多文化助成金プログラム
- 文化と情報格差の橋渡しを行う戦略の設計と実施
- 若者や地域コミュニティに特有のニーズに焦点を当てる
- 多文化政策とサービスにインターセクショナルリティー（交差性）とジェンダー（性的）平等の視点を取り入れる。